

(4) 類似事業の有無

以下事業と連携し、効果的・効率的な事業実施を図る。

- ・防災教育推進費

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託費	5,827	防災啓発テレビ番組の制作・映像コンテンツ用加工
合計	5,827	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第2期県強靱化計画

第5章 強靱化の推進方針の3(10)「リスクコミュニケーション／防災教育・人材育成～自助・共助の底上げ～」において、「自らの命は自らが守る」意識を醸成し、県民総ぐるみで自助・共助の底上げを図る旨を規定。

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 県民の「自らの命は自らが守る」意識を醸成し、県民総ぐるみで自助・共助の底上げを図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
災害や緊急時の備えが出来ている人の割合	63% (H30)	(R)	(R)	75% (R1)	75% (R6)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

（前年度の成果）

2 事業の評価と課題

（事業の評価）

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
（評価）	風水害の頻発化、激甚化や、近い将来に大規模地震の発生が危惧されていることを踏まえ、喫緊の必要がある。
○	

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ○ テレビ番組は、各種防災講座や防災イベントで上映するなど、二次利用を予定し、効果的に活用することとしている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>若年層を中心にテレビ離れが指摘されていることから、いかに多くの県民に視聴いただけるかが課題であり、映像コンテンツ化して各種防災講座等で利用するなど、積極的な活用を図る必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>県民の生命を守るための防災啓発に係る事業であることから、継続して実施する必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	ぼうさいキャラバン（防災教育推進費） <div style="text-align: right;">【危機管理政策課】</div>
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	映像コンテンツ化したテレビ番組をイベントで上映することで、効果的な活用が図られる。